

展覧会『柳本浩市展 “アーキヴィスト—柳本さんが残してくれたもの”』をまとめた記録集

『柳本浩市 ARCHIVIST』

2022年4月4日（月）発刊のお知らせ



Photo：小川真輝

柳本浩市展実行委員会は、2022年4月4日（月）、2017年に開催した展覧会『柳本浩市展 “アーキヴィスト—柳本さんが残してくれたもの”』をまとめた記録集を発刊します。

「アーキヴィスト（Archivist）」という言葉を手がかりに、柳本浩市氏（1969-2016）の活動や思想を踏まえ組み立てられた本展をもとに、柳本浩市展実行委員会では、その活動を改めて見つめなおし、記録集を構成しました。

今回の記録集出版にあたり、2017年の展覧会時の会場写真に加え、あらたに収集物の撮影を行い、アーキヴィストとして柳本氏自ら作成し残した主要なファイルから一部を集録しています。

また、生前、柳本氏と親交のあった方々による寄稿文や氏のレクチャー「アーカイブ個人編集論」なども集録。柳本氏のアーキヴィストとしての収集・整理・編集などの活動が改めて一望できる一冊となっています。

『柳本浩市 ARCHIVIST』記録集概要

刊行：2022年4月4日

仕様：B5判変形（W188mm×H232mm×D25mm）

総256頁（4c・224頁 1c・32頁）・コデックス装

著者：柳本浩市展実行委員会 柳本浩市

発行：柳本浩市展実行委員会

価格：4,400円（税込）

編集：上條桂子、熊谷彰博

撮影：小川真輝、Nacasa & Partner Inc.、
高木康行、永禮 賢

スタイリング：郷古隆洋

アートディレクション：グルーヴィジョンズ

寄稿：横山いくこ（M+キュレーター）、他



取り扱い店舗

Playmountain、DELFONICS 大阪、Smith 各店、
BATHHOUSE SHIBUYA、BATHHOUSE DAZAIFU、BATHHOUSE NAGOYA
CIBONE、他

記録集掲載写真より



Photo：小川真輝

柳本浩市 プロフィール



Photo : 永禮賢

1969年山梨県生まれ。幼少のころ、植草甚一に影響を受けてジャズと古本に目覚め、小学1年生からアメリカ文化に没入し、古着や家具などの収集を開始。ただ収集するだけでなく収集物を独自の視点で再編集し社会背景と照らし合わせて再定義した。マーケティング、セールス・プロモーションなどに関わる会社員時代を経て、2002年にGlyph.を起業。自社の商品開発や出版事業からスタートし、後にKDDIのリテールサービス事業や代官山 蔦屋書店のアドバイザーなど大手企業の商品開発やブランド戦略アドバイザー、行政の地方創生事業などのプロジェクト・マネジメントに携わる。並行して多くの雑誌の特集監修や執筆なども行った。また飲み会「リアル中西」を主宰し、SNS時代における人的ネットワークの構築を実践した。著書に、社会とデザインの関係性を考察した『DESIGN=SOCIAL』（ワークス・コーポレーション）、新しいメディアの創出を提案した『共創がメディアを変える』（中村堂）などがある。

柳本浩市展実行委員会メンバー

中原慎一郎（有限会社 ランドスケーププロダクツ）

佐藤達郎（株式会社 デルフォニックス）

横川正紀（株式会社 ウェルカム）

小林恭+マナ（設計事務所ima）

郷古隆洋（Swimsuit Department）

土田貴宏

熊谷彰博

参考情報

この度発刊する記録集『柳本浩市 ARCHIVIST』は、柳本浩市氏が急逝された翌年2017年に開催された展覧会を元に制作されたものです。展覧会についてご紹介いたします。



Photo : Nacasa & Partners Inc.

柳本浩市展 “アーキヴィスト — 柳本さんが残してくれたもの” 「YANAGIMOTO KOICHI, ARCHIVIST」

開催期間：2017年4月29日（土・祝）～6月4日（日）

会場：東京都目黒区 自由が丘 six factory

【開催概要】

2016年3月に46歳で急逝された、デザインディレクター、柳本浩市氏を追悼する展覧会「柳本浩市展」“アーキヴィスト — 柳本さんが残してくれたもの”は、2017年4月29日（土・祝）～6月4日（日）まで、東京都自由が丘の six factoryにて開催されました。

柳本浩市氏は、2002年に出版やプロデュースを行う自身のレーベル Glyph.（グリフ）を立ち上げ、Glyph. 名義での出版や、企業との商品開発、展覧会のプロデュースなどで多くの実績を残しました。同時に多様なジャンルの収集家として知られ、その収集物が展覧会や各種媒体で紹介されるなど、価値の高さが広く認められていました。膨大な知識の持ち主でもあり、収集物と知識を生かしたいっそうの活躍が期待されていました。

本展では、柳本氏をアーキヴィスト（ものを収集し、整理し、その価値を見きわめてアーカイヴをつくり、未来へ発展させていく人）として捉え、彼の遺品を通してその思想と活動を伝えました。

会場では、柳本浩市氏が自ら作成し、自宅に保管していた資料ファイルを公開。来場者は実際に手に取って貴重な内容を見ることができました。そこには 多様な領域の記事や文献とともに、伝説的エアライン「ブラニフ」や過去のオリンピック、大阪万博、BRAUN、IBM、リーバイ・ストラウスの印刷物なども含まれました。また、世界各国のスーパーマーケットや郵便局などで入手した食品パッケージ、洗剤などの容器、配送用ボックスなども展示し、様々なアイテムを博物館のように分類と関連性をもって展示しました。

一般問い合わせ先：各取り扱い店舗にお問い合わせください

プレス問い合わせ：HOW INC. TEL. 03-5414-6405 MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp